

off-White[0]

-後編-







純白の生地に落としたような

そのちいさな染みは

どんなに拭っても

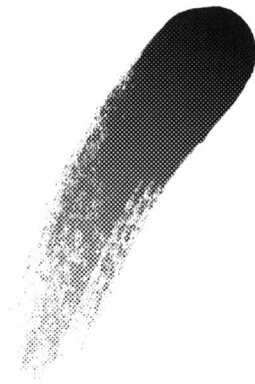
擦れて汚れて

広がってゆくばかりで……

そして終には

真っ白だったその色を

少しだけ濁らせた——



前編のあらすじ

ロストログアの回収作業中、  
何だかよくわからないけど  
そいつの影響でおちんちんが  
生えちゃったフェイトちゃん。

恥ずかしくて誰にも相談できないまま  
翌日学校へ行くフェイトは、  
なにはにだけは知られたくないとい  
思いつからなのはとは距離を置いて  
接してしまっていた。

ふあああつ

気まずい思いを引きずりながらも  
一日を乗り切ろうと頑張るフェイト。  
でもおちんちんがびくびくしちゃうと  
まともに授業も受けられず、  
耐え切れなくなったフェイトは  
なのはたちに黙って早退してしまう。

そしてフェイトの様子に気付きながらも  
助けにならなげられなかつた  
気落ちするなのはだったが、  
励ます友人達に背を押されフェイトの  
あとを追って学校を飛び出していった。

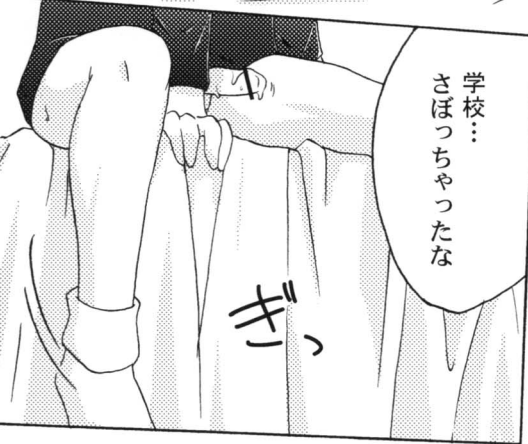
そしてフェイトは……











学校…  
さぼっちゃったな



まさか治らない  
なんて事…

でも…  
もう何回こんな事  
してるだろう…

…これ…出れば  
少しは…おちつく

恥ずかしいけど…  
やっぱり母さんに  
報告しなきゃ…



ごめんなのは…  
ごめん、ごめんね、ごめん  
なの、は、なのは、なのは……っ





せ、

せ、

フエイトちゃん!!



なのはだ  
どうして?  
見られ...  
私を?  
違う、  
見られた?  
なのには  
これっ...  
ためっ



な...

の.....

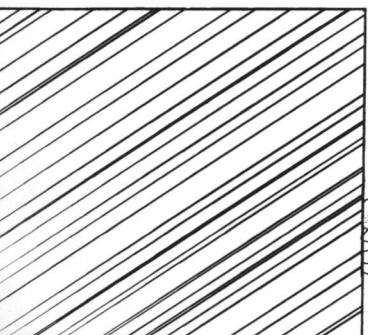
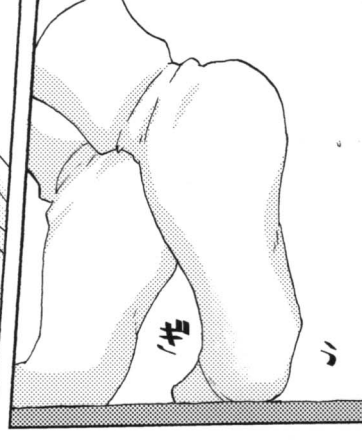


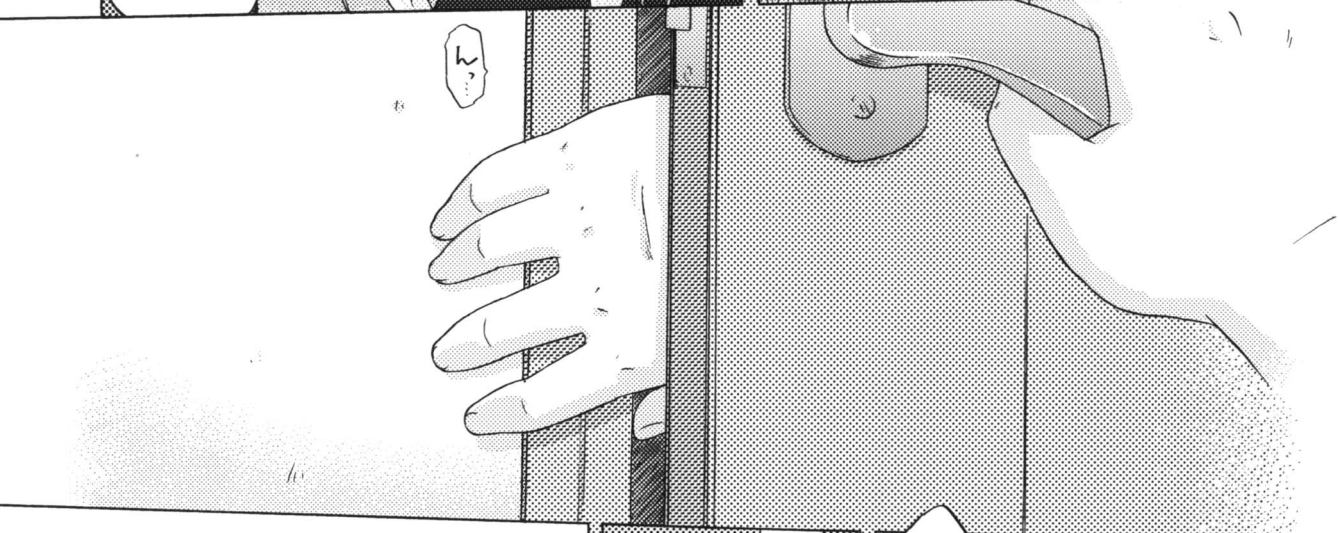
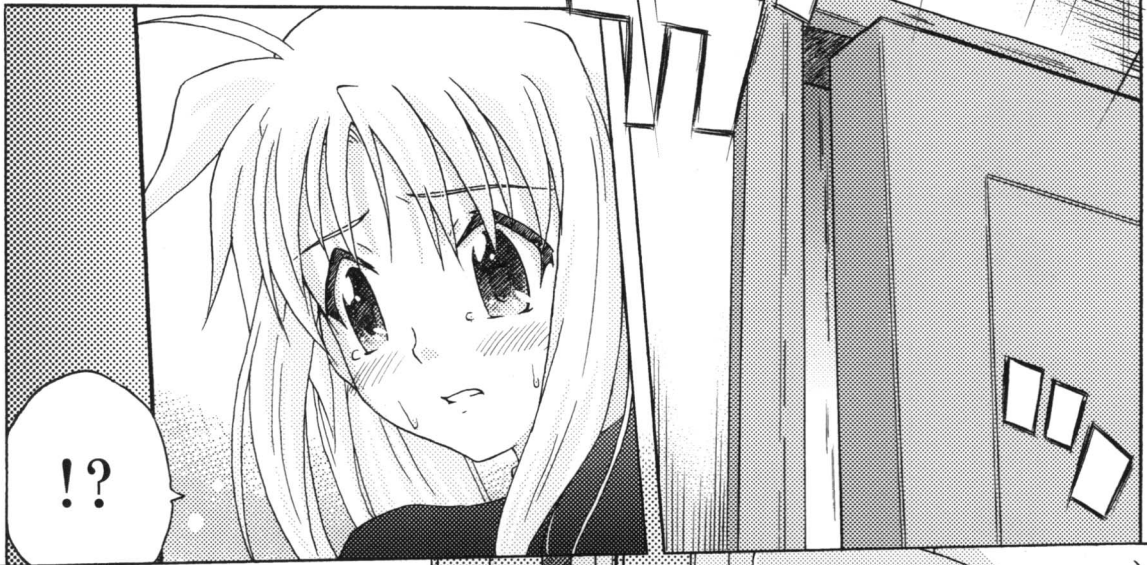
フエイトちゃん

それ...  
だったんだ...

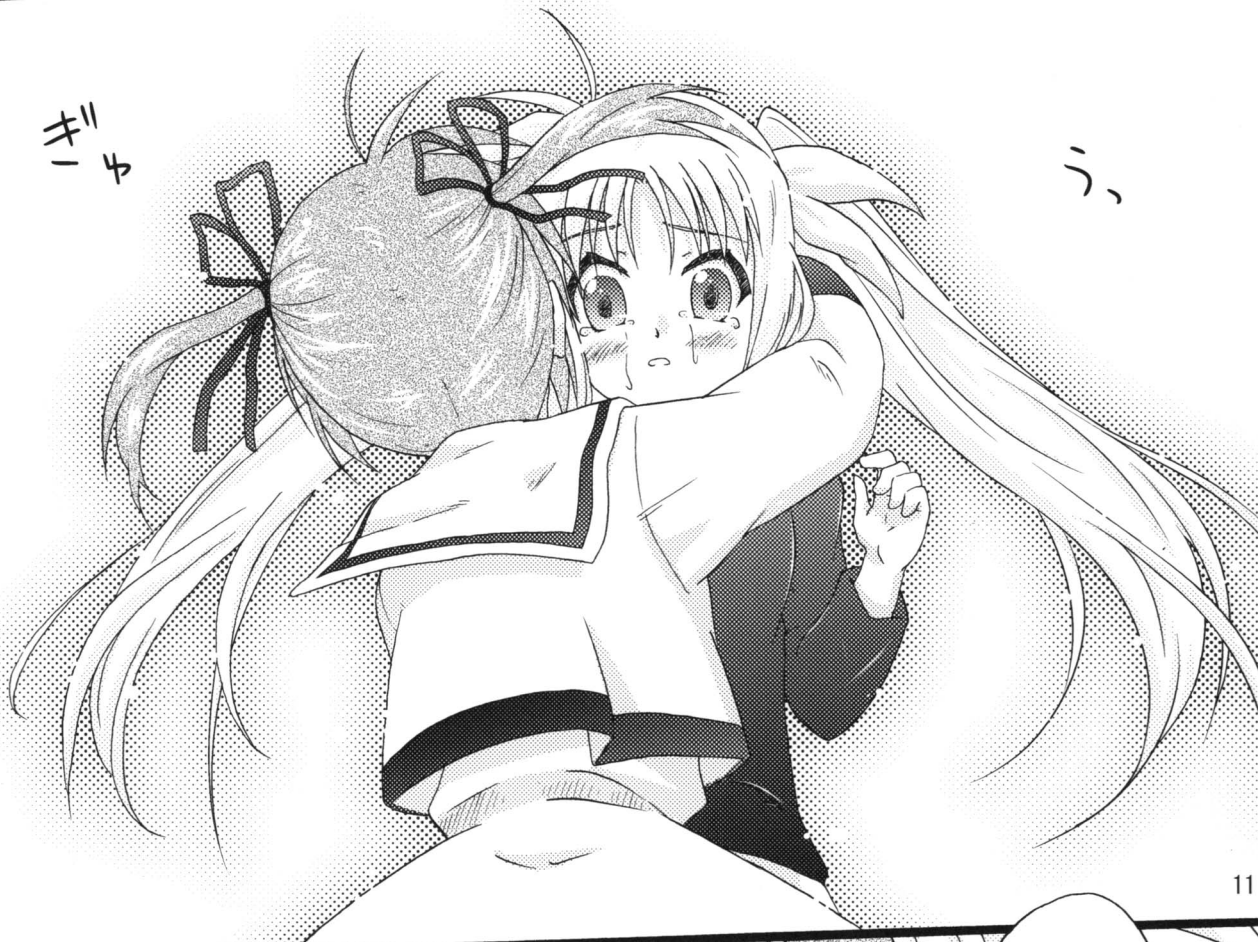
いやだ!!











は……

なの……



苦しさと一緒にあった  
この感じ、この気持ち

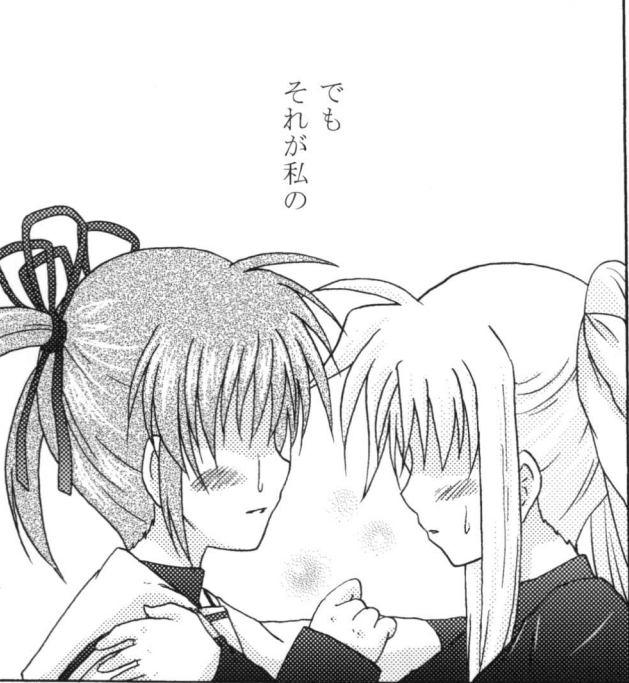
ほんとは全部  
わかった

心にじんんでいる  
この小さな染みは

ロストロギア  
この身体のせいなんかじゃない  
これは私の心にずっとあった、確かな気持ち







なのはに対する私の気持ち……





……私はわかってる





なのははきつと  
私は何をしても応えてくれる

決して嫌がることなく  
それを受け入れてくれる

それを…

私を…

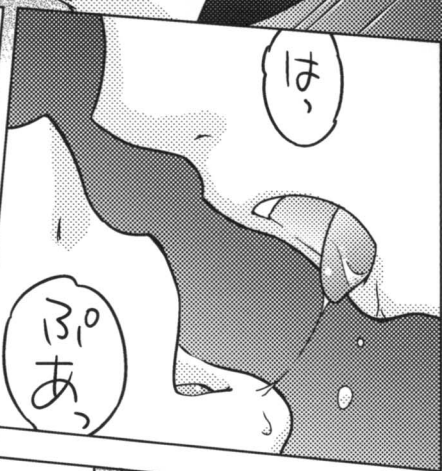
いいよ  
フエイトちゃん



許してくれる…



私は  
最低だ





服…

脱ぐから…

はあ…

はあ、

は—、

はあ…



あ…

どき

私…

ごめん…



おまたせ



こんな身体からだになつてから

このきもちが  
どんどん大きく  
なつていくの…

うん…



なのはの顔を見るだけで…  
なのはの声を聞くだけで…

フェイトちゃん

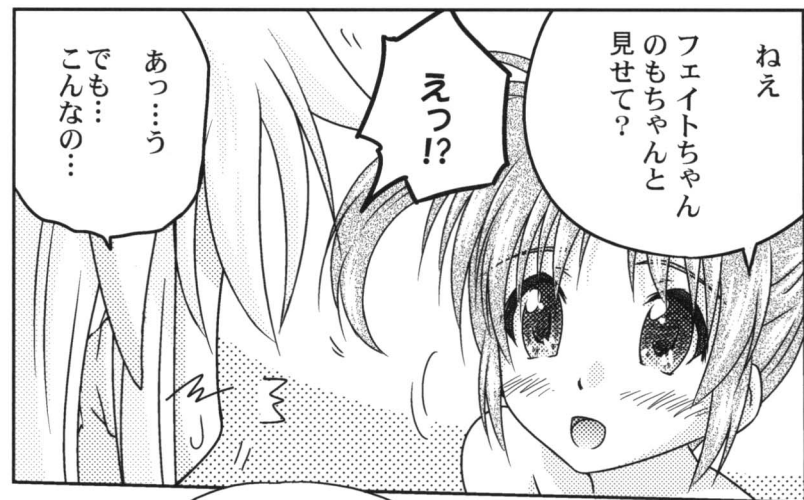


結構恥ずかしいね

には…

なのはを近くに  
感じる程に…







さわ

あっ!?

なのはの  
手っ…

さわい



ふわあ

なんかすごいね…

ふわふわ

びく

びく



さわい

あっ



う、ううん  
大丈夫…

そう？

ごめんっ  
苦しくしちゃった？



はあっ…

止まった…

ふあ…



出ちやつ…

駄目っ…!!

ビクッ

ビクッ

ふわふわ



くち

っ

!?!

何でっ!?

!?



それじゃ…

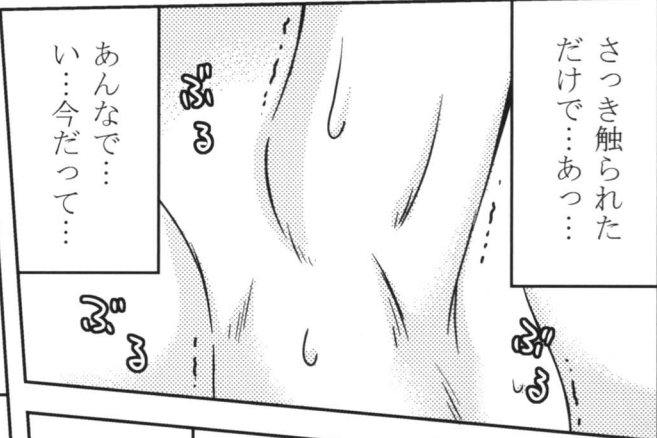
あ



は

む

それに少し  
ふるえて…



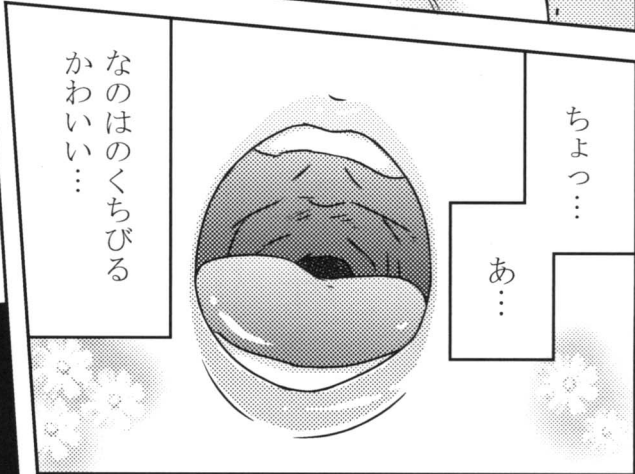
さっき触られた  
だけで…あつ…

あんなで…  
い…今だつて…

ぷる

ぷる

ぷる



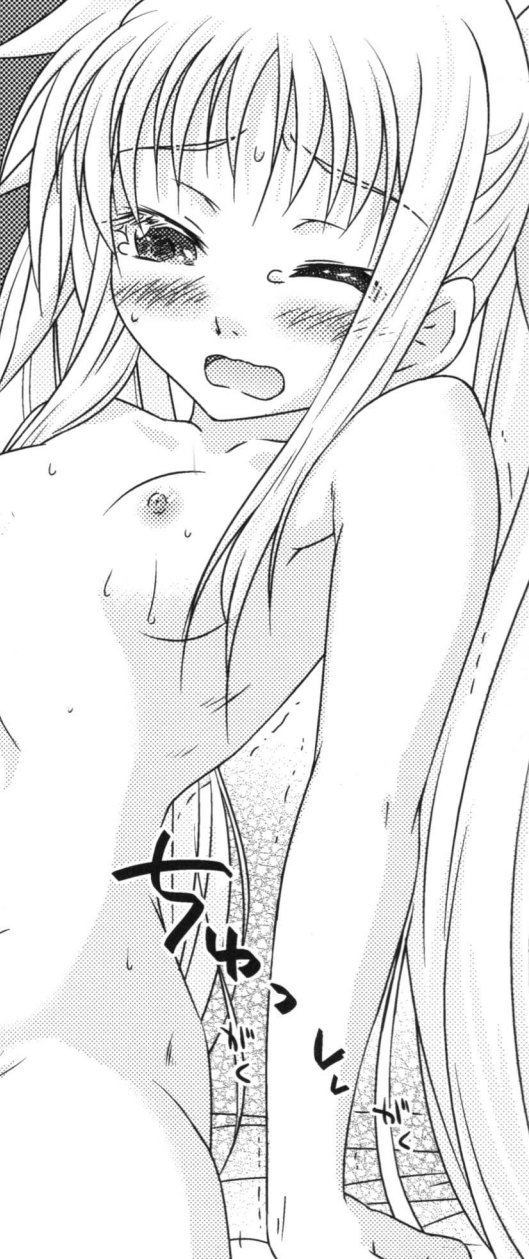
ちよつ…

あ…

なのはのくちびる  
かわいい…













すごい量...

すげえすげえ...  
見て見た本と  
全然ちがう...

フエイトちゃん  
かわいいかも♡

あー

あー

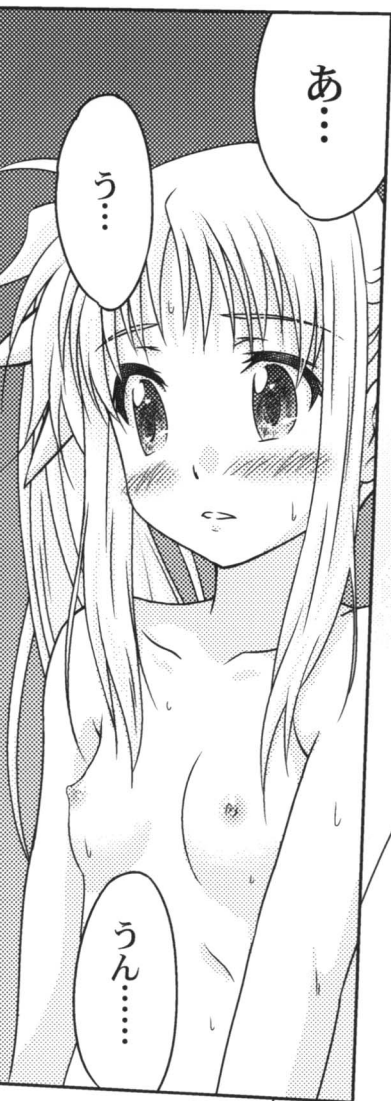
ひあっ!?

あー

フエイト  
ちゃん

それじゃ...

あ



あ…

う…

うん…



はい…



いいよって  
言ったよ？

ね、私…



…



ほんとに…

でも…

なのはに触りたい、  
なのはと一緒にになりたい…

そんな気持ちには  
いっぱいしている

でも、だけど  
これは……

うん…

なまえ

……え？

フェイトちゃん  
今日は一度も

私の瞳をみて私の名前  
呼んでくれてないんだよ

あ…

私の名前

呼んでみて？





…っ

な…



あっ…

は、

—そっか  
私、不安だったんだ…

元からあった  
この気持ちすら  
もしかしたら  
偽者だったのかも  
しれないって  
もしそうだとしたら  
そんな偽りで  
なのは優しさに  
触れたくはなかった



だけど…



…なのは！



うんっ！

この確かな気持ちは  
あの時と同じ、  
ううん  
もっと強くて  
大きくて…

うん、大丈夫  
もう惑わないよ

だって  
ありのままの気持ちで  
いいと  
わかったから

そして、それを…

なのは

そんな気持ちをも  
まっすぐに伝えても  
いいんだって  
また気付けたから…

大好きだよ

前からずっと  
前よりもっと…

これからも  
ずっとずっと

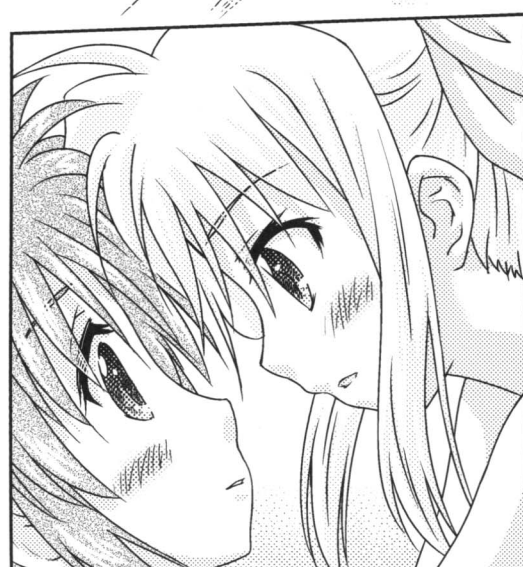
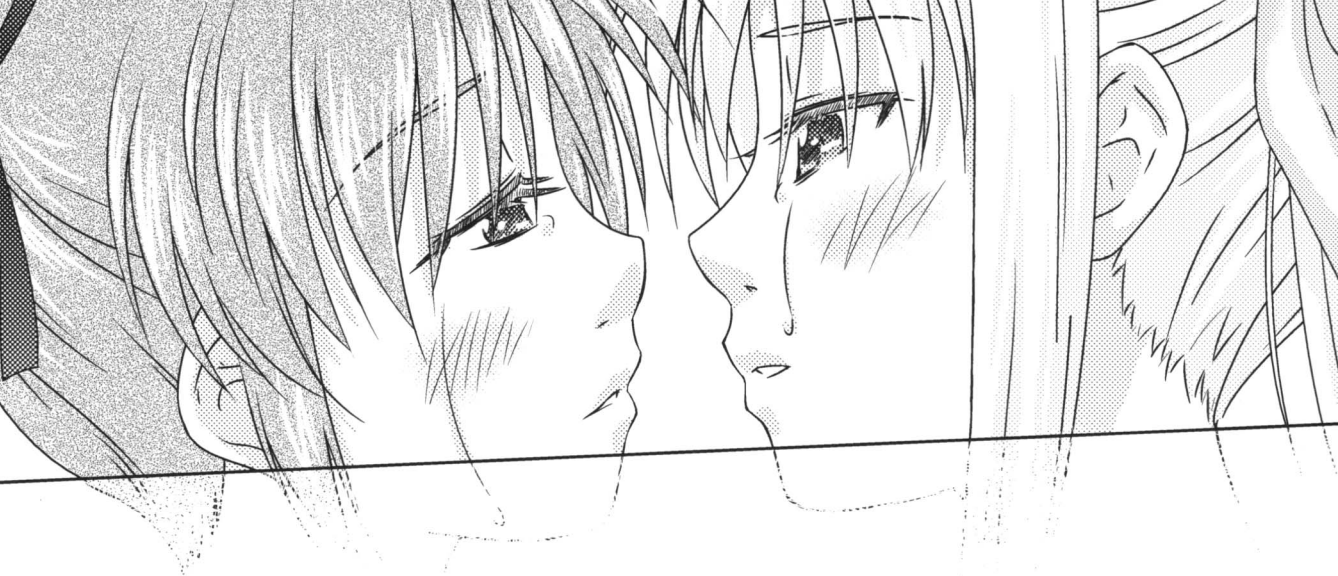
大好きだよ

なのは

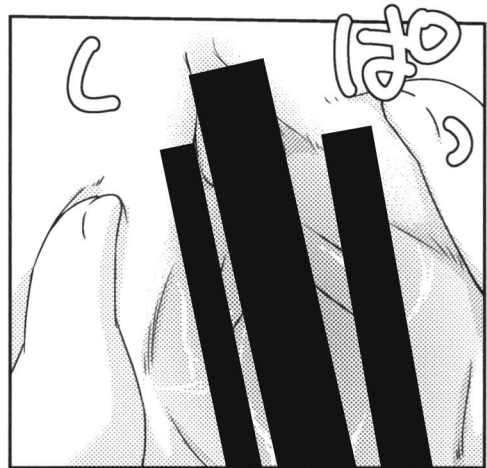
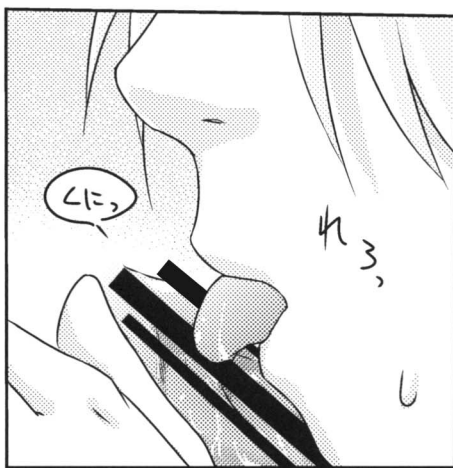
私も…だよ

大好き…

フエイトちゃん











フエイト  
ちゃんっ…

お願い…

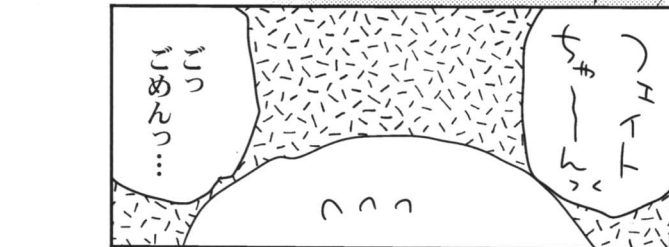
もじ…っ

うん

私も…

この…  
じんじんが…

よめ



ごめんっ…

ちゅーん



あ…っ

にゃ

んっ

ふにゃあ



なのは…

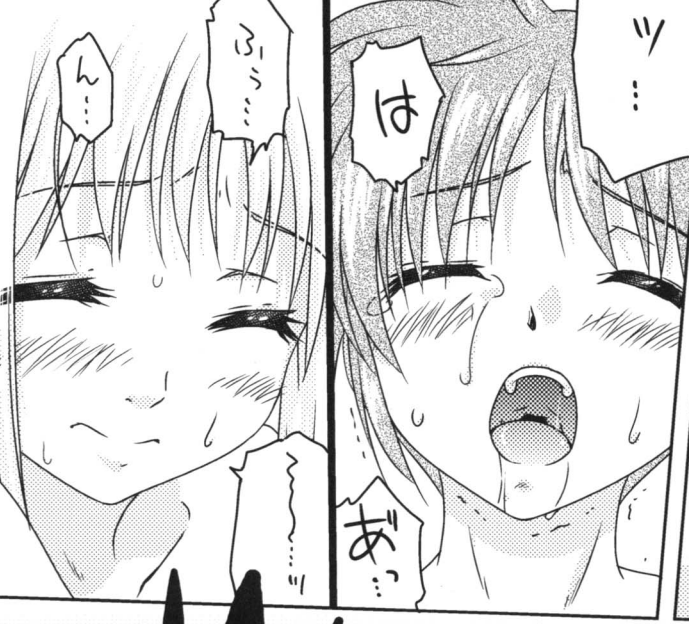
じゃあ…

うん…



ふにゃあ







んっ…

すっすっすっ  
すっすっすっ

あ…

は

ふえいと  
ちやつ…

はっ…っ…

んっす

るっ

にっす

はっ

うっ…ん…

すっ  
すっ  
すっ  
すっ  
すっ  
すっ

すっす

すっ



ごめんね…

なのはっ

私っ…

なのはに…

はっ

はっ

はっ

すっ  
すっ  
すっ

すっ  
すっ  
すっ

すっ

すっ

すっ







なのはのこと...

はあ

なのはっ...

はあ

私も...

はあ

いっばい...感じるよ...



フェイトちゃんっ...

フェイトちゃんの...  
なかで...感じっ...

はあ

はあ

はあ

はあ



それに

はあ

はあ

なによりも...

はあ



肌と肌が...

むちゃっ



なのはの吐息も

汗のおおきも



なのは...!

フェイトちゃんっ!!



なのは...っ  
もっ...もっ...

私...

だめっ...

ん...

いいよ...  
フェイトちゃん

はあ

はあ

はあ

はあ



いっしょ

ん

ビクッ

ビクッ

キラッ



いっぱいなかに  
入って…

うん…  
熱…いの



まだっ…

ニぽ

ドクッ

とろろ

出てる…



んあっ…は…

いっ

びる

びる

びる



ん…

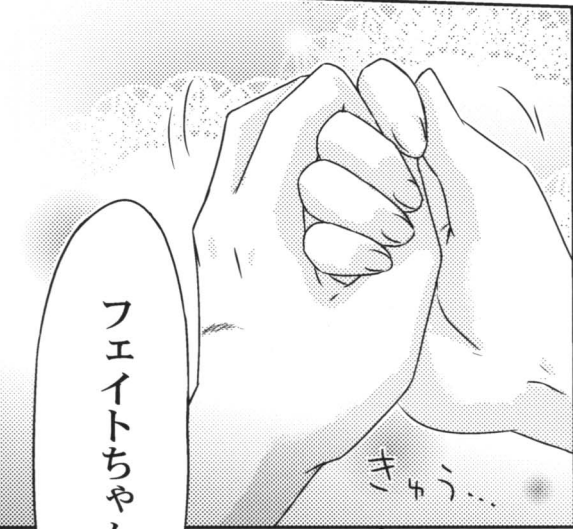
なのは…



あッ

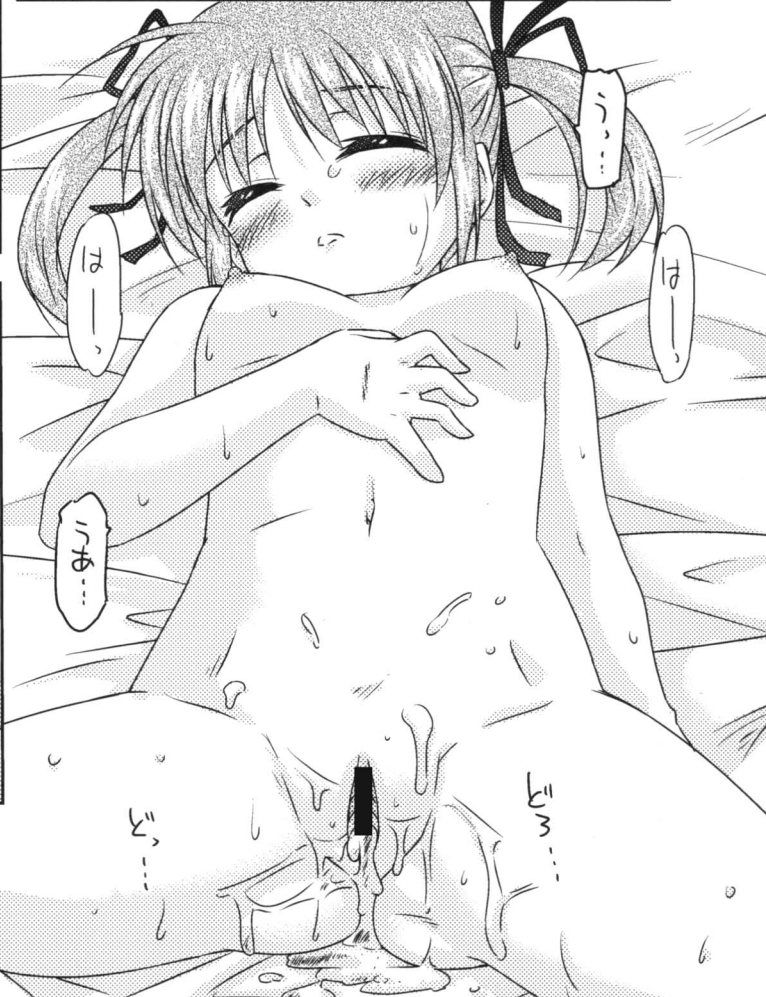
ずる

びよん



フエイトちゃん…

きゃう…



あ

は

ん

ん

ん



それから私たちは――

一緒にお風呂に入って

またちよっと触られたりして…

そしたら何か疲れて少し眠っちゃって

目が覚めて気が付いてみたら

あれがもう無くなっていた

が、は、!





もらえちゃったしね

なのはのはじめて



……もうっ



恥  
ス  
〜



——私の中に落ちた

その小さな染みは





うすく広がって  
そのまま私の一部になった



いつも隣にいてくれる  
ありのままの私を見ていてくれる

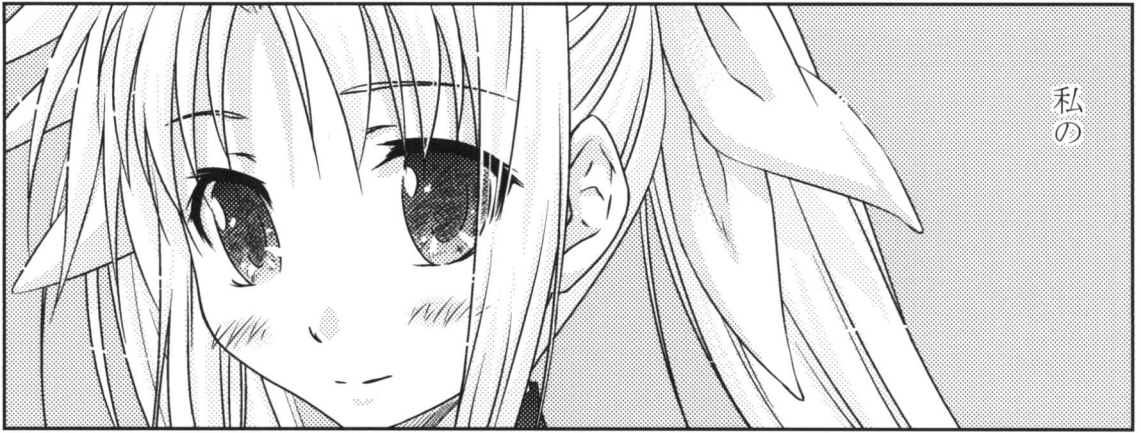
そんなひとがいる心強さを  
また知る事ができた

これから私はたくさん  
経験をしながらか、その度に  
たくさん色を心に  
落としていくのだろう

そうしてその色は  
ずっと変化し続けていく

だからもう  
真っ白じゃなくても  
構わないんだ

だってそれが

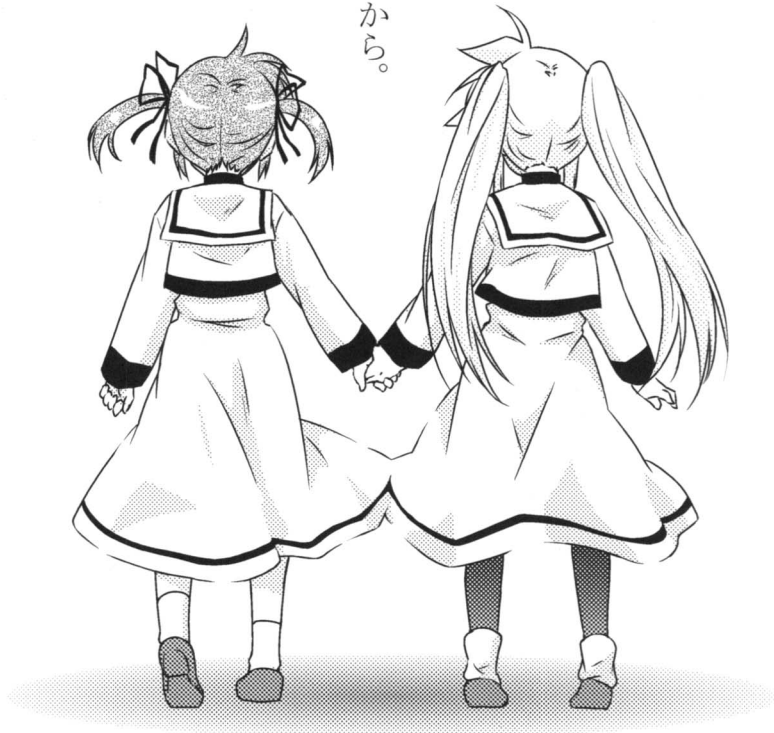


私の



私たちの

色なのだから。



こんにちわ、しのぶです。読了頂きありがとうございました。  
そんなこんなでね、だらだらとお送りしてまいりました『off-white[0]』お楽しみ頂けたでしょうか。  
この「後編」の冒頭ですら描いたのは半年以上前、「前編」の最初なんかは多分2年以上前に  
描いたんじゃないかと思えます。  
その間、絵に悩んだり、その為に遅筆度に拍車がかかったり、長くなりすぎて手に負えず  
放置しては別のを描いたり… という事を幾度も繰り返しているしているうちに  
こんなに経ってしまいました(´ω´)

内容もテンションもぐるぐる回って最初にいた地点も向かった方向も  
既に定かではないのですが、  
元々は何かちんこ生えちゃったフェイトちゃんか  
適当な言い訳と嘘泣きでなのはさんを騙くらかし、ちよろっと  
セクロスするだけのお気楽ギャグ展開だったような気がします。  
どうしてこうなった… ふしぎふしぎ!

というところで。  
ここまでのお付き合い、ありがとうございました。  
またどこかでお会いできましたら幸いです。

それでは皆様お元気でー。ば(´ω´)!”

2011/03/01 04:55 しのぶき巧

■ 奥付 ■  
off-white[0] : -後編-

発行: しんぶるくらす

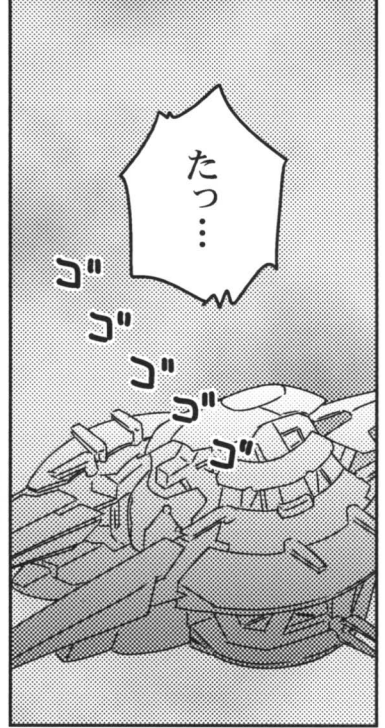
発行人: しのぶき巧

発行日: 2011/03/20 (リリカルマジカル11)

HP: <http://simpleclass.sakura.ne.jp/>

印刷: (株)プロス様





この前回収めた  
『男の暇趣味に走った  
狂科学者とその一派が  
「可愛いオトコ」を探すなら  
女の子にち〇こ生やしちゃうた  
方ははえーや」とかいつて  
その技術を乱用しようとして  
正統派と争いを起こした挙句  
世界レベルの性倒錯を  
起こして滅んだ』と  
伝えられている世界の  
ロストロギアに発動した  
魔力の形跡が……っ!!

世界は  
広いな…







SimpleClass